

【高等教育（専門教育）】

○ 新学習指導要領の主な改善点について

農業科

- 安定的な食料生産の必要性や農業のグローバル化への対応など農業を取り巻く社会的環境の変化を踏まえ、農業や農業関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成するため、次のような改善・充実を図る。
- ・ 現在の「農業経営、食品産業分野」と「バイオテクノロジー分野」を再構造化し、バイオテクノロジーを含む「農産生産や農業経営の分野」と「食品製造や食品流通の分野」に整理
 - ・ 農業の各分野において、持続可能で多様な環境に対応した学習の充実
 - ・ 農業経営のグローバル化や法人化、6次産業化や企業参入等に対応した経営感覚の醸成を図るための学習の充実
 - ・ 安全・安心な食料の持続的な生産と供給に対応した学習の一層の充実
 - ・ 農業の技術革新と高度化等に対応した学習の充実
 - ・ 農業の持つ多面的な特質を学習内容とした地域資源に関する学習の充実

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成 28 年 12 月 中央教育審議会（答申）】

工業科

- 安全・安心な社会の構築、職業人としての倫理観、環境保全やエネルギーの有効な活用、産業のグローバル競争の激化、情報技術の技術革新の開発が加速することなどを踏まえ、ものづくりを通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成するため、次のような改善・充実を図る。
- ・ 工業の各分野で横断的に履修する科目について、知識や技術及び技能の活用に関する学習の充実
 - ・ 技術の高度化や情報技術の発展等への対応に関する学習の充実
 - ・ 環境問題や省エネルギーに対応した学習の充実
 - ・ グローバルな視点を取り入れた学習の充実
 - ・ 電子機械に関わる知識と技術の活用に関する学習の充実
 - ・ 組込み技術について知識と技術の一体的な習得を図る学習の充実
 - ・ 耐震技術やユニバーサルデザイン等の知識と技術に関する学習の充実

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成 28 年 12 月 中央教育審議会（答申）】

商業科

- 経済のグローバル化、ICTの進歩、観光立国の流れなどを踏まえ、ビジネスを通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成するため、次のような改善・充実を図る。
- ・ 観光に関する知識と技術を習得させ、観光の振興に取り組む態度を育成する学習の一層の充実
 - ・ ビジネスにおけるコミュニケーションに関する学習の充実
 - ・ マーケティングと広告・販売促進に関する知識と技術の一体的な習得
 - ・ ビジネスに関わるマネジメントに関する学習の充実
 - ・ 経済のグローバル化に関する学習の充実
 - ・ 情報通信ネットワークを活用したビジネスに関する学習の充実
 - ・ プログラミングとシステム開発に関する知識と技術の一体的な習得
 - ・ 情報通信ネットワークの構築・運用管理とセキュリティに関する学習の重点化

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成 28 年 12 月 中央教育審議会（答申）】

家庭科

- 少子高齢化、食育の推進や専門性の高い調理師養成、価値観やライフスタイルの多様化、複雑化する消費生活等への対応などを踏まえ、生活産業を通して、地域や社会の生活の質の向上を担う職業人を育成するため、次のような改善・充実を図る。
- ・ 調理師法施行令、調理師法施行規則の改正（平成 27 年 4 月 1 日施行）に伴う科目の再編成
 - ・ 食育の推進等、食に関する学習の充実
 - ・ 子供の発達や地域の子育て支援に関する学習の充実
 - ・ 高齢期の衣食住生活の質の向上を図る学習の充実
 - ・ 複雑化する経済社会や消費生活の理解に関する学習の充実
 - ・ 生活文化の伝承・創造に関する学習の充実
 - ・ 職業人としてのマネジメント能力の育成に関する学習の充実

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成 28 年 12 月 中央教育審議会（答申）】

看護科

- 少子高齢化の進行、入院期間の短縮、在宅医療の拡大などを踏まえ、看護を通して、地域や社会の保健医療福祉を支え、人々の健康の保持増進に寄与する職業人を育成するため、次のような改善・充実を図る。
- ・ 多職種と連携・協働し、多様な生活の場にいる人々の看護について、専門性の高い実践力を養う学習の充実
 - ・ 医療安全に関する学習の充実
 - ・ 各領域における倫理的課題に関する学習の充実

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成 28 年 12 月 中央教育審議会（答申）】

情報科

- 知識基盤社会の到来、情報社会の進展、高度な情報技術を持つ I T 人材の需要増大などを踏まえ、情報関連産業を通して、地域産業をはじめ情報社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成するため、次のような改善・充実を図る。
- ・ 情報セキュリティに関する知識と技術を習得させ、情報の安全を担う能力と態度を育成する学習の一層の充実
 - ・ 情報コンテンツを利用した様々なサービスや関連する社会制度についての知識や技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育成する学習の一層の充実
 - ・ システムの設計・管理と情報コンテンツの制作・発信に関する実践力の一体的な習得
 - ・ 情報メディアと情報デザインに関する知識と技術の一体的な習得
 - ・ 問題解決やプログラミングに関する学習の充実
 - ・ 統計的手法の活用やデータの分析、活用、表現に関する学習の充実
 - ・ データベースの応用技術に関する学習の充実
 - ・ ネットワークの設計、構築、運用管理、セキュリティに関する学習の充実
 - ・ コンピュータグラフィックや情報コンテンツの制作に関する学習の充実

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成 28 年 12 月 中央教育審議会（答申）】

福祉科

- 福祉ニーズの高度化と多様化、倫理的課題やマネジメント能力・多職種協働の推進、ICT・介護ロボットの進歩などを踏まえ、福祉を通して、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人を育成するため、次のような改善・充実を図る。
- ・ 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な学習の追加
 - ・ 福祉従事者に求められるマネジメント能力に関する学習の追加
 - ・ 福祉従事者に必要な倫理に関する学習の充実
 - ・ 福祉実践における多職種協働に関する学習の充実
 - ・ 福祉用具や介護ロボット等を含む福祉機器に関する学習の充実

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成 28 年 12 月 中央教育審議会（答申）】